

TOP INTERVIEW

サポート・スタッフ（中央区中央）は、地元・相模原を人材で支え続けている企業です。設立時から手掛けているのは人材派遣ですが、そのほかにも紹介予定派遣もカバーしています。2007年6月には保育園事業にも進出。現在、中央区鹿沼台で「すずらん保育園」を運営しています。夫婦で起業した青木庸江社長は、創業時から幾多の苦勞を乗り越えつつ、不屈の精神で会社を育ててきました。そして現在は会社経営の一方で、当会議所・女性会の会長も務めています。女性会は今年で創立50周年。11月には記念式典も控えています。今回は青木社長にインタビューし、会社や女性会について聞きました。

―事業内容について教えてください。

「夫（現会長）とともに、税理士事務所に勤務していましたが、1997年

8月に現在の『サポート・スタッフ』として人材事業を始めました。人材派遣業と有料職業紹介事業の認可を取得し、文字通りゼロから立ち上げました。今こそ人材派遣業は世の中でも十分浸透していますが、当時の中小企業には『派遣』という言葉も認知されていません。そのため、立ち上げ当初の3年間は飛び込み営業を続けました。とにかく必死で、私たち自身も派遣先に出向いて仕事をすることもありました。軌道に乗せるまでは語り尽くせないほど大変だったと記憶しています」

―その後は順調に成長しましたね。「現在の派遣先は大学や医療機関、

企業が中心です。おかげさまで、比較的大きな企業様に派遣させていただいています。登録スタッフは数百人いますが、その9割以上を女性が占めています。当社としては、紹介予定派遣（派遣先の企業に直接雇用されることを前提とする派遣）を伸ばしていきたいと考えています」

―保育園も運営しています。

「人材派遣をやっていく中で、働きたい意欲はあるものの、お子さんを預ける場所がないために断念してしまう女性たちを多く目にしました。そこで子育て中の女性が安心して働けるようにと、淵野辺駅近くに認可外保育園を設立しました。やがて規制緩和があり、民間事業者の保育所参入ができるようになりました。そのため、認可保育園への移行に向けて奔走しました。一番大変だったのは場所探しです。そんな

「人」で地域支え 保育園も運営

50周年の女性会会長も務める

（株）サポート・スタッフ
代表取締役

青木 庸江さん



れば今後も広げていきたいと思っています」

―女性会も50周年です。

「私は7代目会長ですが、この半世紀をたった7人の会長でやってきたこと自体、すごいことだと思います。ただ、私が会長に就任した直後からコロナ禍になりました。（緊急事態宣言などもあり）派手な活動はできませんでしたが、今は目の前の50周年記念式典に集中したいと考えています。その後注力していきたいのは会員増強です。その一環として、外部の人たちに（女性会への）関心を持ってもらい入会につなげるため、会のホームページとパンフレットを制作しました。私自身、創業して苦勞したため、とりわけ女性起業家の人たちに入会してもらい、積極的にサポートしていきたいと思っています」

時に、当時入会したばかりの女性会で仲間相談したところ、谷津建設（谷津弘社長＝建設業部会長）さんを紹介してもらい、現在の場所を見つけてもらいました。そして17年4月に移転し、認可保育園として出発しました。保育園事業は、ご縁があ